



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

March 2004~05 No.9
 Chartered July 20, 1982

主 題 YS THEME (2004~2005)

センテニアルクラブ会長：『人が人として心豊かに生きるために！』
 国際会長：『Let Your Light Shine』『輝かせ あなたの光を』
 アジア会長：『Love your neighbors as yourself.』
 『自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ』
 西日本区理事：『“皆な仲間” 働こう!!』
 中西部長：『響き合い、ともに歩む』

クラブ役員 Officers

会 長 : 石津 雅人
 副会長 : 谷川 俊一
 // : 鎌田 史朗
 書 記 : 山田 孝彦 (主)
 // : 栗山 佳三
 会 計 : 三浦 直之 (主)
 // : 鎌田 史朗
 対外会長 : 坂本 千春
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月 間 強 調 テ ー マ : 『 E F ・ J W F 』

€€€€ 3 月 の 聖 句 €€€€
 [Biblical Message of March]

€€€€ 3 月 の 例 会 €€€€
 [March Club Meeting]

天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。
 『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』
 確かにあなたがたに伝えました。」婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤに行くよう言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

(マタイによる福音書 28章5~10節)

○ 3 月 第 1 例 会

日時：2005年3月16日(水)18:30~20:30

場所：リーガグランドホテル 5階 桂の間

司会 坂本 千春メネット

1. 開会点鐘 石津 雅人会長
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 石津 雅人会長
4. 聖句朗読 隅田 恵子メネット
5. 今月のテーマ「EF/JWF」山田 孝彦君
6. 日々の糧・晩餐 一 同
7. スピーチ「東西日本区交流会に参加して」

“ DBC 締結もあって素晴らしい体験でした・・・”
 出席したメンバー

8. インフォメーション 各 担 当
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一 同
10. 閉会点鐘 石津 雅人会長

○ 3 月 第 2 例 会

日時：2005年3月23日(水) 18:30~20:30

場所：大阪YMCA土佐堀館9階

*3月例会当番 4班 (松浦、三浦、隅田、田中、坂本)

*3月お誕生日 Happy Birthday!
 谷川有美子メネット17日、松浦メン22日、
 中村珠実メネット25日、

€€€€ Attention Please €€€€

1. 3月第1例会は、中之島のリーガグランドホテル5階で開催します。お間違えないように。
2. 2月20日、東京セントラルクラブとのDBC を御殿場で締結しました。楽しい交流をやっていきましょう!!
3. 下期の会費を、まだの方は 会計三浦さんまでよろしく。

【クラブ統計 Statistics】下欄()は、うち 広義会員を表す。*2月号記載の「1月第2例会出席者は7名」です。

2005年2月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 20(1)名	メ ン	9名	7名	2月:切手 305 gr.	2月: 12,500円
	メネット	6名	名	現金 1,000円	
例会出席 9名	ピシター	1名	名	(04年7月~05年2月の)	(04年7月~05年2月の)
うちメイクアップ 名	ゲスト	1名	名	累計:切手 2,425 gr.	累計: 108,400円
出席率 47.4%	合 計	17名	7名	現金 14,000円	[除く、クリスマス献金、オークション、記念献金]

2 月 第 1 例 会

【 Report of the February Club Meeting 】

(2月16日(水) 18:30~20:30 大阪 YMCA)
プリテン 松浦 孝次

- 2月例会は、TOF の月。会場を大阪 YMCA に移して開催。メン9名、メネット6名、ゲストに盛田愨正さん、今井利子さん(なかのしまクラブ)を迎えて、なごやかにつどいました。
- 藤原正巳メンの司会のもとに進行。冒頭、山村幸明さんのご逝去を悼み、全員黙祷を捧げました(第4面に追悼記事)。浜野昌保メンの聖句朗読のあと、中村茂高メンから「TOF /CS」についての解説がありました。世界 60 億人中、8億人が飢餓に苦しんでいることに思いを致しつつ、メンバー1人あたり2,000円を拠出すること。また地域援助活動の基金として1人あたり切手シート14枚(金額換算1,800円)をファンドに拠出すること。
- 晚餐めきで、お茶を飲んだあと、クラブ総会を開き、次期の役員選出を行って、役員会から推薦された候補者が承認されました(第3面参照)。会長は石津メンが再任され、氏から「引き続いてよろしく」との挨拶がありました。
- 今月のスピーカーは、クラブメンバーの3人。テーマは海外事情—ベトナムとニュージーランドです。
- ① まずベトナムについて、谷川 寛メンから。最近「The Fog of War (戦争の深い霧)」を観た。ベトナム戦争に関したマクナマラ・元米国防長官のベトナムとのからみがポイントで、この映画が基にしている彼の回顧録(1995年出版)で「ベトナム戦争は間違いであった」と告白している。しかし「戦争は人間の本質だ、なくすことは不可能」という彼のメッセージは重く、悲しいと。
- ② つづいて、04年末から年始にかけて家族でベトナムを訪問した山田孝彦メン(ご子息がベトナムに駐在)から、ベトナム近況のレポート。彩りあるベトナムの景色が、画像で紹介されました。
- フエは、世界文化遺産で、阮朝(グエン)王朝の遺跡が美しい。ホーチミン市は仏教寺院が多く、高層ビルも目立つ。料理は豊富で、宮廷料理を含めて、安くておいしい由。
- ③ ニュージーランドについて、昨年12月に18人で探訪した松浦孝次メンから さわりの報告。1年がかりで計画した手づくりの旅で、自然の雄大さを満喫したと、白銀のマウントクックや 深淵なミルフォードサウンドなどを画像で紹介。人口わずか380万人が、日本の70%の面積に住むという環境、動植物の特性、イギリスの影響、世界で初の女性参政権などにふれました。
- わがクラブ第1例会は、3月からリーガランドホテルの5階で開くことが確認されました。また、ゲストの今井利子さんから、なかのしまクラブが3月12日(土)午後 土佐堀Yで「ミャンマー活動報告会」を開くとのPRがあったあと、TOF 例会は閉会しました。

≡≡≡≡ 今月の聖句に寄せて ≡≡≡≡

今月はイースター(復活節)の月です。イースターは、春分の日から数えて最初の満月の次ぎに来る日曜日と決められており、今年は3月27日に当たります。

今回の聖句は、イエスが十字架にかけられ、墓に葬られ、そして復活した光景を、天使の声として伝えていきます。

死人が復活することはいえない、と主張する人々の意見は、科学の世界と宗教の世界を混同した論理です。信じる人にとっては、イエス・キリストの復活は信仰的事実なのです。

そもそも、人類を限りなく愛する神が、その独り子イエスをこの人間の世界に送り、この人を見よ、この人こそ、その言動を通して神の心を端的に表しているのだと教えておられるのです。そのイエスは、虐げられている人々の味方として、時の権力者を恐れず、大胆に信じる道を歩んだので、遂に捕らえられ、裁判にかけられ、最も酷い刑罰である十字架の死をとげました。しかし、神は神の正義を人々に分からせるためにイエスを復活させました。その意味でイースターはクリスマス以上に重要な日とされております。

(聖句選、コメント：黒田毅之)



(上：2月20日 東山荘でのDBC締結式—第3面に記事 下：2月例会風景 熱弁をふるう谷川寛メン)

ワイズメンズクラブ・東西日本区交流会

ひとつに集まる

東京セントラルクラブとDBCを締結！！

2月19日(土)午後、わがメンバー9人(石津、山田、藤原、三浦、坂本、松浦メン。坂本、隅田、松浦メネット)は、三島駅からチャーターバスに乗り、20~30cmの積雪の中を走り、御殿場の東山荘に到着しました。雪に白く彩られた東山荘に、全国から沢山のメンバー(約400人)が続々と到着です。

開会式では、日本区が東西に分れた'98年以来 初めての合同交流会であり大変意義深い、というスピーチがあいつぎました。また鈴木メンを悼む言葉がありました。

交流プログラムは分科会方式で行われ、各自 それぞれに選択して参加。夕食懇親会は、400人が一堂に会して食事しながら東西交流を楽しむという趣向でした。

その後、DBCの相手となる東京セントラルクラブのメンバー(石井会長、谷治、小寺、白井、服部のみなさん)との交流会をもち、仲人役の神谷幸男さん(東京西クラブ)、吉松勝郎・西日本区交流主任(鹿児島クラブ)のほか、松本武彦・中西部部長たちも参加。藤原メンと小寺さんの余興も飛び出し、お酒を飲んでの会は大いに盛り上がりました。

20日(日)は、聖日礼拝を守ったあと、「アクティブな部の発表」があり、東京セントラルクラブが属する「あずさ部」もその一つ。中央線沿線(東京~松本)界隈にある部だそうです。

そしていよいよ、わがセンテニアルクラブと東京セントラルクラブとのDBCの締結式です。両クラブのメンバー全員が壇上へ上がって、両クラブの歴史や締結に至る経緯が紹介された後、両クラブの会長と両区の理事が締結証に署名し、縁談はめでたく成就しました。両クラブメンバーがお互いにかたく握手。拍手をうけて降壇しました。

東西日本区のみなさんに祝福されての締結式は、実に値打ちのあるものでした。(松浦 孝次)



2005/2006 年度 クラブ役員 (Club Officers for 2005/2006)

会長 President	石津 雅人 Masato ISHIZU
副会長 V. President	谷川 俊一 Shunichi TANGAWA
	永島 寧 Yasusi NAGASHIMA
書記 Secretary	*山田 孝彦 Takahiko YAMADA
	藤原 正巳 Masami FUJIMURA
会計 Treasurer	*三浦 直之 Noyuki MIURA
メネット会長 Y's Menette President	谷川有美子 Yumiko TANIKAWA
広報・プリテン Bulletin-PR	*松浦孝次 Koji MATSUURA
	石津雅人 Masato ISHIZU
EMC EMC	畠中 彬 Akira HATAKENAKA
交流 IBC/DBC YEEP/STEP	*谷川 寛 Kan TANIKAWA
	藤原 正巳 Masami FUJIMURA
ファンド BF/EF/JWF	*中村 茂高 Shigetaka NAKAMURA
	藤原 正巳 Masami FUJIMURA
地域奉仕 CS/TOF	*中村 茂高 Shigetaka NAKAMURA
	栗山 圭三 Keizo KURIYAMA
Yサ・ユース YMCA Service ASF/YIA	新保 正秋 Masaaki SHINPO
聖句 Biblical-Message	黒田 威之 Yoshiyuki KURODA
連絡主事 Related-Secretary	浜野 昌保 Masayasu HAMANO
会計監査 Auditor	福永 嘉彦 Yoshihiko FUKUNAGA
	(* は主担当)

注. 05年7月からの役員です。



(上 : DBC締結のあと握手する、右から石津会長、石井東京セントラルC会長、藤井東日本区理事、柴田西日本区理事 左 : 壇上の両クラブメンバー)

お知らせ

1. チャリティ映画会 “アイ・ラブ・ピース”
「アフガニスタンの少女の声に耳を傾けませんか・・・」
05年3月5日(土) ①10時～12時 ②13～15
③16～18 3回上映。
土佐堀YMCA2階ホール 会費：前売1,200円
大阪ワイズメンズクラブ主催/土佐堀YMCA共催
2. YYフォーラム
05年3月26日(土) 14時～17時
土佐堀YMCA会館
3. 環境教育セミナー「IHS学生によるニュージーランド研修——世界緑化フォーラム参加と緑化ボランティア活動の発表」 若い人たちの感性にふれませんか・・・
05年3月28日(月) 17時～18時30分
土佐堀YMCA会館
4. 第8回西日本区大会
05年6月11日(土)～12日(日) 神戸

チャーターメンバーであった山村幸明さんが、2月14日に逝去されました。2月15日に通夜、2月16日に葬儀が桃山台千里会館で営まれました。喪主は利子夫人。謹んでお悔やみ申し上げます。

山村幸明君を偲ぶ

黒田 巖之

当クラブの元会長山村幸明君が、去る2月14日逝去されました。彼を知る人は、彼の満面の笑みを忘れられないでしょう。また、人に親切で、誰とも親しく交わった人でした。

日本冷熱興産(株)の専務取締役として、実業界で活躍されただけでなく、実業人には珍しくボランティア精神の旺盛な人でした。関西いのちの電話の相談員として、他の人がともしれば避けたがる深夜帯の電話相談でも進んで担当するなど、彼の積極的な奉仕の姿勢は周囲の人々に大きい感化を与えました。

また、吹田西ロータリークラブでは創立会員であり、また地区のロータリー財団学友委員やクラブ会長も勤められました。

当クラブでも、信望も厚く、存在感があり、彼が出席しているだけで、まわりに安心感を与えていました。

私はいのちの電話を通して親しくなったのですが、何故か気が合い、互いに私宅を訪ねあったり、

♫ つつじの美しい頃ご夫妻を洛北の園通寺に案内したことなどを懐かしく思い出します。

最近では体調を崩し、欠席が多くてはと、退会扱いを希望され、久しくお姿を見ませんでした。突然の訃報に暗然としつつ、みたまのご平安をお祈りいたします。

山村幸明ワイズを惜しんで

山田 孝彦

“穏やかな 小雨冬至と なりにけり”

“数かぞえ 手に手に雑煮 祝いけり”

わがプリテン'83年4月号の特集「My Private Life」の「マイ・ホビー」欄に、習い初めて満2年と前置きして掲載された山村さんの自選俳句です。

山村さんはセンチニアルクラブのチャーター('82.9)メンバーです。「明るく愉快地にクラブライフを」をモットーに掲げてクラブ会長に就かれたのが89年7月。言葉どおりいつも明るく大きい声で語って居られたことが印象に残っています。

しかし、普段の言葉数はそれほど多い方ではなかったと記憶しています。それだけに彼の発言には重みがあったようにも思えます。

チャリティランにご家族揃って参加し、ご子息と一緒にランナーで走ったり、奥さま手作りのお弁当で、センチニアルみんなとお昼を団楽したのも懐かしい思い出です。

YEOPの交換留学生でデンマークの学生を預かって、Free Sexの国の若者に日本のルールを理解させるのに困ってしまった、というお話も思い出されます。

大阪YMCAの国際協力委員として、早い時期にスタディーツアーの団長としてミャンマーに行かれ、それが縁で、なかのしまクラブのチャーターメンバーに山地和家さんを紹介されました。今の「なかのしま」の看板である「ミャンマープロジェクト」のきっかけを作られた訳です。

そんな山村さんが忽然と私達の前から姿を消してしまわれた。高齢化時代の今日からすればまだまだお若く、これからもご活躍を期待していた方だけに本当に残念でなりません。私達に比べて何倍もの活動をされて、神さまがもう卒業してよろしいと認定して召されたのかも知れません。かの国でゆっくりお休み下さるよう祈るしかない思いです。

“春山に 一礼をする 遍路かな”

“山あれば 大師堂あり 冬巡り”

山村さんの 2002年春頃の作品です。

On February 16th, the club's February meeting was held at the Osaka YMCA with a total of 16 Y's men, Y's menettes, and a guest in attendance.

At the beginning of the meeting, we offered a one minute prayer for late SACHIAKI YAMAMURA, who was an active Charter member of our club up until two years ago and passed away on February 9th. May his soul rest in peace forever!

With its emphasis on the Time of Fast and the Community Service activities, Y's man SHIGETAKA NAKAMURA outlined the meaning and purpose of the program.

At the general meeting followed, Y's man MASATO ISHIZU was renominated as the incoming president of the club. His term begins on July 1st, 2005. All other officers nominated are shown on the page 3.

The highlight of the February meeting was the speeches made by our members: Y's man KAN TANIKAWA spoke about newly released documentary film, "The Fog of War" – an interview with ROBERT S. McNAMARA, reflecting the errors and judgement made by him about America's stumble into Vietnam.

Y's Man TAKAHIKO YAMADA and Y's man KOUJI MATSUURA respectively spoke about their recent trips to Vietnam and New Zealand. We could learnt a lot from the very suggestive remarks made by each speakers.

The donations and contributions were collected from the members at the meeting, together with commemorative New Year stamps.

【 Report of the February Club Meeting 】
(2月23日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

1. 3月第1例会プログラム

第1面記載のとおり。東西日本区交流会に焦点をあてる。

2. 4、5、6月例会のプログラム

スリランカ被災状況と大阪YMCAの支援策、EMC、いま西アフリカは? —などをテーマに、ゲストスピーカーとの折衝を行う。なお、6月は「デファレンステイ」として開催、4日か25日(土)いずれかとする(ゲストの都合で決定する)。一般の方にもアピールする内容のものにする。

3. 「鈴木謙介さんを偲ぶ会」

5月21日(土) 午後にYMCA会館903号室で開催。プログラムは、山田、藤原メンで詰める。

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

*まもなく新しい年度を迎え、大阪YMCAへも新しいスタッフがかわります。3月は研修の期間ですが、皆様方の暖かいご指導も期待しております。会員によって支えられ、育てられる新しいスタッフのために、よろしくお願いたします。

★ 第143回大阪YMCA早天祈禱会

日 時：3月18日(金) 7時30分~8時30分
場 所：大阪YMCA会館 10階チャペル
証 し：村上修子さん(日本キリスト教団大阪教会伝道師)
問合せ：大阪YMCA Tel.06(6441)0894

★ 暮らし方シリーズ2005「里山に学ぶ・旧暦と暮らす」

発見!ロハスの原点 旧暦を知ろう・自然体で暮らそう
日 時 3月19日(土)~21日(月・祝)2泊3日
場 所 里山の自然学校 紀家わいわい村
参加費 一般22,000円

☆ "Bauhinia News"

香港Bauhinia クラブニュースから抜粋

○ 独居老人のためにパーティー開催

同クラブでは、2月14日に 西部地区女性福祉クラブと共同で141人の独居老人を招待し、旧正月を祝う集いを開催されました。

○ Charity Night 2005の開催

同クラブ恒例のCharity Nightを4月2日に開催する予定で、会員や他クラブフイズメン、およびゲストの出席を呼びかけています。

IBCクラブニュース

藤原 正巳 (IBC・DBC委員長)

"Aloha from Hawaii":

ハワイヌアヌクラブ、プリテンから抜粋

2月には 次のような活動が予定されています。

○ YMCA ユース支援キャンペーン報告ディナーの開催

時 期：2月16日 場 所：Nuuanu YMCA
その他：各自デザートを持参すること

○ YMCA Camp Er man 労働奉仕

時 期：2月19日
仕 事：会場用に10個のベンチを購入、据付実施
その他：レンチとねじ回しを持参のこと



ニコニコ・メッセージ

【 Messages from the Club Members 】



ゲストからのメッセージ

○子クラブながら例会日が重なり、訪問できなかったのですが、今月はTOF例会。鈴木さんのお婆のない例会淋しく思っていますが、でも傍らで見守ってくださる鈴木さんを感じました。出来のいい娘クラブと自負していますが、どうか見守り下さいませよう。いい例会に感謝しています。

(なかのしまクラブ 今井利子)

“ごぶさだ”メッセージ

○またまた不養生を大いに反省しています。欠席申し訳ない。今年も上月英子様より年賀はがきと当選切手15シートと沢山の古切手を頂きました。ご懇情を感謝。

(福永 嘉彦)

会員からのメッセージ

○ベトナム戦争の話、ニュージーランドの大自然の話など多様なテーマの話で楽しい例会でした。

(石津 雅人)

○谷川さんのベトナム戦争の話は、当時小学生でベトナム戦争のニュースに強いショックを受けていたころの自分自身を思い出しました。人間は少しは改善されてきているのでしょうか？

(坂本 千春)

○例会の始まる前にYMCAの1階のカフェで、メネット5名とお食事を楽しい時を過ごしました。

(隅田 恵子)

○新しい役員が決まり安心しました。ご苦労さまです。みんなを支えていきましょう。

(谷川 寛)

○「ベトナム」での戦争の重い話と、家族旅行の楽しい話、「ニュージーランド」での大自然の満喫と温かい人情、「韓国」からのゆず茶のおみやげ。私にとって未知の国々の話を楽しく聞くことができた例会でした。すべて会員によるスピーチがよかったです。

(谷川 有美子)

○ベトナム戦争の話、いまのベトナムのこと、世界の平和を祈らずにはられません。NZの話も単なる観光ではない貴重な体験のようですね。

(中村 幸枝)

○ベトナムのアレコレ、ニュージーランドの自然、さまざまな海外の話、興味深く伺いました。谷川寛さん、山田さん、松浦さんありがとうございました。

(中村 茂高)

○今日は居ながら世界の各地を旅行できて、楽しい会合でした。皆さんどんどん外国へ行って紹介してください。

(畠中 彬)

○石津会長、再任ご苦労さまです。来年度もまた、新たな気持ちで頑張りたいものです。それにしてもセンテニアルには論客が多く、今夜は色々と考えさせられる夜でした。色々な人と交わり、知識が深まることもクラブライフの楽しみですね。

(藤原 正巳)

○山村様の葬儀に参列し、お元気な頃を懐きながら帰りました。今日はお三方のお話し意義深く、興味深く、また楽しく聞かせていただきありがとうございました。今日、風邪で休んだ主人が残念がることでしょう。

(福永 滋子)

○The Fog of Warの中で、人は善をなさんとして悪をなすという箇所が印象的でした。ベトナム戦争のことや、現在のホーチミン市の様子などを、興味深く聞かせていただきました。

(松浦 和子)

○友人18人の旅だったので、帰国後CDが7~8枚集まり、画像が2,000枚近くあって、その内のごく一部をご披露しました。ご静聴ありがとうございました。

(松浦 孝次)

○食事なしの例会でしたが、ゆったりとした雰囲気よかったです。今夜はベトナムとニュージーランドへ行った気持ちです。

(三浦 直之)

2月BFニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in February 】

山田 孝彦 (書記)

◇現金提供者：山田君

◇切手提供者：山田、石津、谷川寛、藤原、上月、福永、隅田、三浦君

○今月の殊勲賞：山田君 100gr



(上：雪の東山荘 中：交流会初日に登録するメンバー 下：東京セントラルクラブとの交流のタペー飲み物を前に)

《 編集後記 》

初めてのDBCが東京セントラルクラブとの間で実現しました。関係のみなさまのご努力に感謝します。

チャーターメンバーであった山村幸明さんが逝去されました。鈴木さんに続いての悲報です。

(松浦 孝次)